(仮称)大東市立ほうじょう学園施設整備方針策定業務委託に係る公募型プロポーザル 選定経過及び審査講評

はじめに

今回のプロポーザルは、「(仮称)大東市立ほうじょう学園の設置に関する基本構想」に基づき、大東市立北条小学校と大東市立北条中学校を統合し、施設の老朽化・社会的劣化等への対策を含む新たな教育を実現すべく、教育機能の向上を目的に実施する、「(仮称)大東市立ほうじょう学園設置工事」及びこれに附帯する工事の施設整備方針策定業務を委託するにあたり、既存の学校施設を長く大事に使うことに重点を置いた老朽化対策工事を進めることはもとより、子どもたちの多様な教育的ニーズに応じた施設機能の高機能化・多機能化、防災機能強化、環境との共生などを実現する施設整備が求められており、また、義務教育9年間の連続性を意識した新しい学びを実現できる施設をつくること、長寿命化改修と増築が混在すること、隣接する公園を共用すること等、様々な課題があり、このような業務の特性上から、設計段階における創意工夫の重要性に鑑みて、豊富な経験と高い技術力そして専門的な知識を有し、且つ良質な業務実施体制の下、発想力豊かな提案を行うことができる設計事業者を選定することを目的として実施したものです。

募集に先立ち、令和6年8月7日(水)、第1回選定委員会を開催し、募集要領や評価要領等について審議を行いました。

8月19日(月)に公募を開始し、約2カ月の間にわたる手続きを経て、この度、以下に示すとおり、最優秀提案者及び優秀提案者を選定しましたので、選定経過、審査講評とともに公表いたします。

1. (仮称)大東市立ほうじょう学園施設整備方針策定業務委託に係る大東市プロポーザル方式事業者選定委員会

(委員構成)

役職	氏名	備考
委員長	岡本 功	大東市教育長
委員	西口 利文	大阪産業大学 全学教育機構 教職教育センター 教授
委員	松本 裕	大阪産業大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 准教授
委員	草宮 利一	一般財団法人 大阪建築防災センター 建築確認検査機構 枚方支所 支所長
委員	所 千夏	一級建築士事務所 アトリエ CK 代表 公益社団法人 大阪府建築士会 元理事
委員	花澤 秀之	大東市立北条中学校 校長
委員	大田 千洋	大東市立北条小学校 校長

2. 選定経過

(1) 参加表明書等(一次審査)受付期間
令和6年8月21日(水)～9月5日(木)

(2) 参加表明
3事業者

(3) 一次審査(書類審査)

事業者から提出された各書類の内容から、評価要領に基づき、以下の評価項目について審査を行いました。書類審査のため、あらかじめ事務局で審査を行い、得点上位3事業者を技術提案書等の提出者として選定し、選定委員会各委員に報告しました。(全委員了承)

(一次審査 評価項目と評価基準)

	評価項目	評価基準	配点
(1)	管理技術者を除く配置予定技術者の資格	主任技術者が保有する資格	5点
(2)	過去10年間の同種又は類似業務の実績	管理技術者等が過去10年間に完了させた同種又は類似業務の実績	10点
(3)	事業者の過去10年間の受賞歴	過去の受賞歴	10点
(4)	CPDの取得単位の状況	管理技術者、主任技術者が取得している建築CPDの実績	5点
			合計 30点

(一次審査結果) ※事業者名は、申し込み順にアルファベット(A～C)で表記しています。

事業者名	得点	審査結果
A社	26.4	一次審査通過
B社	15.6	一次審査通過
C社	17.1	一次審査通過

(4) 二次審査(ヒアリング審査)

一次審査(書類審査)を通過した3事業者より技術提案書、価格提案書の提出を求め、以下の評価項目について審査を行いました。技術提案の内容については、下記の日程でプレゼンテーション(20分)及びヒアリング(30分)を実施し、各事業者の取組方針や創意工夫、提案の的確性・独創性・実現性等を審査しました。二次審査では、評価の公正性・公平性を確保するため、技術提案書の記載上でも、又、プレゼンテーションの際も事業者名を匿名として審査を行いました。

(プレゼンテーション及びヒアリングの実施)

開催日時: 令和6年10月29日(火) 午後1時から5時まで

開催場所: 大東市立市民会館5階 教育委員会研修会議室

(二次審査 評価項目と評価基準)

	評価項目	評価基準	配点
(1)	業務実施方針	・業務の理解度及び取り組み意欲(配点:6点) ・業務の実施方針の的確性等(配点:9点)	計15点
(2)	評価テーマに対する技術提案	①子どもたちの生命を守り抜く安全・安心な教育環境の整備について	15点
		②新しい時代の学び舎(北条公園を含む)となる柔軟で創造的な学習空間の整備について	15点
		③施設一体型義務教育学校の特性(9年間の特性)を生かせる空間の整備について	20点
(3)	価格提案	見積書の受注予定金額	5点
			合計 70点

3. 選定結果

最優秀提案者:株式会社浦辺設計

優秀提案者:株式会社横河建築設計事務所 大阪事務所

(二次審査結果) ※最終得点が57点に満たない場合は契約候補者として選定しないこととしています。

評価項目		配点	A社	B社	C社
一次審査(書類審査)	管理技術者を除く配置予定技術者の資格	5	3.4	3.4	4.5
	過去10年間の同種又は類似業務の実績	10	10	8.2	10
	事業者の過去10年間の受賞歴	10	10	0	0
	CPDの取得単位の状況	5	3	4	2.6
	小計	30	26.4	15.6	17.1
二次審査(ヒアリング審査)	業務の理解度及び取り組み意欲	6	5.16	4.80	4.26
	実施方針の的確性等	9	7.20	6.93	6.21
	評価テーマ①	15	12.00	10.35	9.90
	評価テーマ②	15	11.55	11.10	9.00
	評価テーマ③	20	16.00	13.80	12.60
	価格提案	5	1	2	1
	小計	70	52.91	48.98	42.97
合計(最終得点)		100	79.31	64.58	60.07
選定結果			最優秀提案者	優秀提案者	

4. 審査講評

最優秀提案者である(株)浦辺設計様は、(仮称)ほうじょう学園が抱える課題を的確に捉え、「有機的な生命力をもつ学校」の実現に向けて、「5つのC」(Creativity・Collaboration・Communication・Criticalthinking・Curiosity)という行動指針で課題解決に取り組む姿勢を示され、全体を通して、子どもたちの目線で細かいところまでよく考えて、具体的な設計に落とし込んでいるところが評価されました。

設計のみに留まらず、義務教育学校や新しい教育のあり方への取り組み、関係者との思いを共有し形にしていくワークショップなど、これまでの子どもに関わるプロジェクトの豊富な経験を活かして、子どもたちの安全・安心をフィジカル・メンタル・ソーシャルの3つの視点でつくる学校づくりや、既存校舎を最大限活用しながら、児童・生徒が安全・安心に学び合うための動線の確保や多様な学習活動に柔軟に対応できる学習空間等としてまとまりある学年ユニット、学習やイベントなど多用途に使える小ホールをシンボル空間として活用する案等が魅力的な提案として高く評価されました。

また、「新しい学び(流行)を実現しつつ、将来の変更に対応できる骨太な空間(不易)をもつ学校づくり」というコンセプトからも、これからまた長い歴史を重ね、地域に愛される学校づくりをめざしていることが伺えます。

さらに、質疑に対する簡潔かつ的確な回答からも、学校が抱える課題をしっかりと理解していること、「相互のコミュニケーションを重視する」といった発言からも、本業務に対する真摯な取り組み姿勢が伝わりました。

学校の持つ価値を最大限に引き出そうとする強い取り組み意欲が感じられ、ゾーニングに関する柔軟な発想力・高い提案能力を認識することができ、事業者としての設計の方向性が整理されている点も含めて、高く評価される結果となりました。

プレゼンテーション及びヒアリングを通じて、安全・安心の学校づくりという基本的な要素は押さえつつ、そこに「(仮称)ほうじょう学園」ならではの新しい学びを取り入れ、変化にも対応できる学校づくりがしたいという設計者としての強い意欲が表れており、また、それが提案書の上での理念的な記述には留まらず、各課題に相對した具体的なアイデアと簡潔明瞭なプレゼンテーションとして示され、最優秀提案者として高く評価される結果となりました。

ラーニングスクエアや大階段等に関しては、活用と安全に関して、共存の難しさを指摘する意見もありましたので、今回の提案が良い結果となって結実するよう、学校関係者等の意見を十分に汲み取り、引き続き、創意工夫をもって丁寧に検討されることを期待したいと思います。

次に、優秀提案者である(株)横河建築設計事務所 大阪事務所様は、「(仮称)ほうじょう学園」の全体像が分かりやすく、コストや工期をしっかりと意識した設計の提案が評価されました。また、既存校舎を活用した、学校全体が学びとなる多様で新しい学習スタイルを生み出す魅力ある学びの拠点として、立ち寄りやすく常に身近に感じる位置に設けた「ラーニング・コモンズ」を中心とした自発的な学びを育む校舎を提案されたことが高評価を得ました。

また、高さを抑えた小体育館、コンパクトな校舎等、周囲の環境にも配慮した設計を提案していただきました。コンパクトな設計ながらも、基本的な学習環境を整え、メディアセンター・太鼓ひろば・屋上テラス・大階段・ランチルーム等知的好奇心を触発する創造的な学びの場の提案が優れていました。

一方で、地域との連携や防災まちづくり拠点としての整備を提案していただきましたが、太鼓ひろばや屋上テラスの造りこみ、地域活用については、一般的な発想の枠を超えず、少し物足りない感じがしました。

創造性や整備後の学校の姿をイメージした際の期待感という点においても最優秀提案者と比べて遜色ありませんでしたが、コンセプトに基づいた提案内容の具体性及び説得性、質疑応答の的確さ、機能が有機的につながるゾーニングの提案等の点において、最優秀提案者が高い評価を獲得したため、惜しくも優秀提案者として選定される結果となりました。

5. 最後に

今回のプロポーザルの実施にあたりまして、参加いただきました事業者様におかれましては、現地見学会への参加をはじめ、技術提案書の作成にあたり多くの時間と労力を費やされたことと思います。

今回の(仮称)大東市立ほうじょう学園は、本市初の義務教育学校として設置するものであり、本業務は既存校舎の長寿命化改修及び増築、また北条公園の活用という非常に難しい対象でありました。それらの与条件は、創意工夫を凝らすうえで大きな制約になったものと推察しますが、いずれの事業者様からも、既存施設を最大限に有効活用した優れた提案をしていただき、審査委員一同、その真摯な考察と創意工夫をこらした貴重な提案を高く評価しました。

この後、選定された設計事業者様により当該設計業務が進んでいくこととなりますが、歴史と伝統が継承され、地域の方に愛され、そして学校の色々な場所で元気に活動している子どもたちの姿が見られる学校空間が整備されることを期待したいと思います。

令和6年11月20日

(仮称)大東市立ほうじょう学園施設整備方針策定業務委託に係る
大東市プロポーザル方式事業者選定委員会
委員長 岡 本 功